平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月14日

上場会社名　株式会社中央製作所　　上場取引所　名
コード番号　6846　URL　http://www.chuo-seisakusho.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 後藤　邦之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長　(氏名) 篠田　政明　TEL 052-821-6155

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,114	1.1	△63	―	△66	―	△71	―
24年3月期第2四半期	2,091	34.8	23	―	△5	―	△14	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△9.21	―
24年3月期第2四半期	△1.84	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,284	1,422	33.2
24年3月期	4,654	1,560	33.5

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　1,422百万円　24年3月期　1,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	2.50	2.50
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	△17.1	15	△94.0	12	△94.8	7	△96.8	0.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	7,843,000 株	24年3月期	7,843,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	75,280 株	24年3月期	75,030 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	7,767,864 株	24年3月期2Q	7,769,389 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 ……7
（４）継続企業の前提に関する注記 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8
（６）重要な後発事象 ……8
４．補足情報 ……9
（１）生産実績 ……9
（２）受注実績 ……9
（３）販売実績 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、震災後の復興需要等により一部に景気回復が見られたものの、円高の長期化、欧州債務問題の深刻化、中国を始めとする新興国の経済成長の鈍化等厳しい状況が続きました。

このような環境下で、当社の受注高は2,213百万円（前年同期比8.5％減）、売上高につきましては2,114百万円（前年同期比1.1％増）となりました。収益につきましては、競合他社との価格競争により、市場価格が下落し、その結果、営業損失63百万円、経常損失66百万円、四半期純損失71百万円の計上となりました。

以下主なセグメントの状況は、次のとおりであります。

（電源機器）

当第２四半期累計期間の電源機器におきましては、顧客の生産能力増強への投資意欲は極めて弱く、また、老朽化した既存設備に対する更新の予定も先行きの不安から見送られるケースも多く、前事業年度後半に引き続き厳しい事業環境にありました。その結果、受注高は690百万円（前年同期比26.9％減）、売上高は513百万円（前年同期比44.9％減）となりました。

（表面処理装置）

当第２四半期累計期間の表面処理装置におきましては、国内において既存設備の更新需要の掘り起こし、海外における新たな生産拠点等の情報収集を積極的に行ってまいりました。また、厳しい価格競争に打ち勝つため、より一層のコストダウンにも取り組んでまいりました。その結果、受注高は826百万円（前年同期比0.4％減）、売上高は960百万円（前年同期比73.2％増）となりました。

（電気溶接機）

当第２四半期累計期間の電気溶接機におきましては、国内市場における輸送機業界を中心とした生産拠点の再編及び海外進出に伴う需要の情報収集に力を入れてまいりました結果、主に自動車業界における緩やかな回復が受注・売上に寄与いたしました。一方、海外においては、汎用溶接機用制御装置が引き続き好調に推移いたしました結果、受注高は382百万円（前年同期比51.7％増）、売上高は365百万円（前年同期比30.5％増）となりました。

（環境機器）

当第２四半期累計期間の環境機器におきましては、地球環境保全についての国際的な取り組みが進展する中、成長が期待される製品群であり、受注高は146百万円（前年同期比5.1％増）、売上高は165百万円（前年同期比19.8％増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べ7.7％減少し3,603百万円となりました。これは、現金及び預金が352百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が644百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べ9.2％減少し680百万円となりました。これは、投資その他の資産が64百万円、有形・無形固定資産合計が４百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ7.9％減少し4,284百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ8.5%減少し2,088百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が37百万円、未払法人税等が２百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べ4.7%減少し774百万円となりました。これは、退職給付引当金が７百万円、役員退職慰労引当金が14百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ7.5%減少し2,862百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ8.8%減少し1,422百万円となりました。これは、利益剰余金が90百万円、その他有価証券評価差額金が46百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動の結果388百万円の収入、投資活動では14百万円の支出となり、財務活動では19百万円の支出及び現金及び現金同等物に係る換算差損が２百万円となったことから、資金は352百万円増加し1,262百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果388百万円の収入（前年同期は支出141百万円）となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額578百万円、減価償却費19百万円であり、支出の主な内訳は未払費用の減少額53百万円、仕入債務の減少額22百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は14百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出13百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は19百万円（前年同期は支出0.1百万円）となりました。

支出の主な内訳は配当金の支払額19百万円等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年５月11日（平成24年３月期決算発表時）に公表いたしました内容を変更しております。詳細につきましては、本日（平成24年11月14日）公表しております「第２四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,060,379	1,412,674
受取手形及び売掛金	2,084,931	1,440,217
商品及び製品	70,959	69,374
仕掛品	541,587	543,705
原材料及び貯蔵品	97,990	102,673
その他	50,003	36,188
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	3,904,852	3,603,835
固定資産		
有形固定資産	305,272	304,506
無形固定資産	15,825	11,887
投資その他の資産	430,315	366,116
貸倒引当金	△1,768	△1,768
固定資産合計	749,645	680,741
資産合計	4,654,498	4,284,577
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,078,893	1,041,879
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	6,775	3,959
その他	356,945	202,190
流動負債合計	2,282,614	2,088,029
固定負債		
退職給付引当金	554,459	546,834
役員退職慰労引当金	229,400	214,600
その他	28,013	12,570
固定負債合計	811,873	774,005
負債合計	3,094,488	2,862,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	732,206	641,237
自己株式	△11,420	△11,445
株主資本合計	1,449,371	1,358,377
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,638	64,164
評価・換算差額等合計	110,638	64,164
純資産合計	1,560,010	1,422,542
負債純資産合計	4,654,498	4,284,577

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	2,091,892	2,114,403
売上原価	1,626,724	1,724,371
売上総利益	465,167	390,031
販売費及び一般管理費	441,471	453,938
営業利益又は営業損失（△）	23,695	△63,906
営業外収益		
受取利息	68	38
受取配当金	3,329	3,107
雑収入	1,488	2,227
営業外収益合計	4,886	5,373
営業外費用		
支払利息	5,458	5,463
為替差損	28,301	2,421
雑損失	381	393
営業外費用合計	34,141	8,277
経常損失（△）	△5,558	△66,811
特別損失		
固定資産除却損	520	545
投資有価証券評価損	7,141	3,115
特別損失合計	7,661	3,660
税引前四半期純損失（△）	△13,220	△70,471
法人税、住民税及び事業税	1,067	1,077
法人税等合計	1,067	1,077
四半期純損失（△）	△14,287	△71,548

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△13,220	△70,471
減価償却費	23,179	19,279
退職給付引当金の増減額（△は減少）	10,755	△7,625
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8,400	△14,800
受取利息及び受取配当金	△3,398	△3,145
支払利息	5,458	5,463
投資有価証券評価損益（△は益）	7,141	3,115
売上債権の増減額（△は増加）	△269,167	578,496
たな卸資産の増減額（△は増加）	△223,430	△5,216
仕入債務の増減額（△は減少）	268,326	△22,994
未払費用の増減額（△は減少）	6,471	△53,795
その他	41,799	△35,559
小計	△137,686	392,745
利息及び配当金の受取額	3,398	3,145
利息の支払額	△5,517	△5,544
法人税等の支払額	△2,121	△2,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	△141,927	388,171
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△236	△259
有形固定資産の取得による支出	△12,995	△13,371
無形固定資産の取得による支出	△1,470	－
その他	653	△580
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,047	△14,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△18	△19,218
その他	△126	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144	△19,244
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,832	△2,421
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△180,951	352,295
現金及び現金同等物の期首残高	1,082,831	910,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	901,880	1,262,674

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）
（重要な子会社等の設立） 当社は、平成24年３月16日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年10月８日付で中国に子会社を設立いたしました。 １．子会社設立の理由 当社は、更なる需要の拡大が期待されるアジア市場において、販売体制の強化及び顧客サービス体制の充実により、海外事業の一層の拡大発展を図ることを目的として、下記の通り、中国に現地法人を設立することといたしました。 ２．子会社の概要 （１）商号　：　秋欧机械设备（上海）有限公司 （CHUO SEISAKUSHO SHANGHAI,CO.,LTD.） （２）所在地　：　中華人民共和国上海市长宁区茅台路553号409-2室 （３）代表者　：　後藤　邦之（当社代表取締役社長） （４）事業内容：　当社製品の販売・保守及び資材調達業務　他 （５）資本金　：　35万米ドル （６）出資比率：　当社　100％ （７）設立日　：　平成24年10月８日

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

(1) 生産実績

当第２四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	590,075	△45.0
表面処理装置	831,518	21.7
電気溶接機	375,115	40.7
環境機器	181,354	22.9
その他	96,243	△48.2
合計	2,074,307	△12.0

（注）１　金額は、販売価格によっております。
　　２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第２四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	690,252	△26.9	354,085	△42.2
表面処理装置	826,136	△0.4	459,644	△60.7
電気溶接機	382,907	51.7	145,616	159.2
環境機器	146,128	5.1	35,945	21.6
その他	168,496	△33.5	88,075	△27.5
合計	2,213,921	△8.5	1,083,365	△45.5

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第２四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	513,931	△44.9
表面処理装置	960,413	73.2
電気溶接機	365,795	30.5
環境機器	165,728	19.8
その他	108,534	△41.9
合計	2,114,403	1.1

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。